



筑波大学遺伝子実験センター
形質転換植物デザイン研究拠点
研究セミナー(5)



日時: 8月4日 13:30 - 15:00

場所: 遺伝子実験センター内セミナー室 (2階)

遺伝子組換え農作物の生物多様性影響評価と

実際の安全性評価試験

田部井 豊

独立行政法人農業生物資源研究所 遺伝子組換え研究推進室

遺伝子組換え農作物の安全性評価については、OECDなどの議論を経て、現在はカルタヘナ法により生物多様性への影響評価が行われている。1989年に農林水産省が遺伝子組換え農作物の環境安全性に関する指針を策定し、2004年からカルタヘナ法へ引き継がれている。この間、我が国で行われた安全性評価試験について紹介し、現在及び今後の問題点などを抽出し、我々の研究プロジェクトで行うべき課題等について議論の契機にしたい。

問合せ先: 下野綾子 (内線 7726, E-mail: shimonoa@gene.tsukuba.ac.jp)